

## 難民申請者に「尊厳」はないのか

NGO代表

(東京都 57)

岸田文雄首相は国連総会の演説で「人間の尊厳」という言葉を繰り返し使い、尊厳が守られる社会を呼びかけた。人の尊厳は世界中で守られるべきだが、翻つて日本はどうしている国だろうか。

中東出身の難民申請者の話を聴いた。独裁的な政権への抵抗運動に参加したため、祖国から追われる身になった。一緒に活動していた恋人は死刑。命からがら約30年前に来日し、労働力確保のため超過滞在外国人の就労を黙認していた日本にとどまり建設現場で働いた元を見ていたときだ。

た。だが10年後のある日突然、入管に捕まり強制送還の対象に。帰国したら間違いなく死刑だと訴えても聞き入れられず、連れて行かれた空港で自傷し出血。機長判断で搭乗を拒否された。計4年間入管施設に収容され、難民申請も4回拒否された。今春ようやく特別に1年の滞在が認められたが、就労は不可。生活保護も「支給できない」と断られたという。

帰国したら殺される、でも日本では就労が許されない。この状態は人間としての尊厳が守られていくと言えるだろうか。首相には足元を見ていただきたい。